

コース別履修モデル〈現代世界論コース〉

ここでコース別の履修モデルを紹介します。履修計画を立てる参考にしてください。もちろん、興味や希望する進路、また専攻地域や専攻言語によって履修内容は人それぞれです。自分なりの外大生活を組み立ててください。

※モデル内で紹介された授業科目名は 2018 年度から 2024 年度までの授業時間割に基づきます。年度によって、当該授業が開講されない場合や開講学期が異なる場合、科目名が変更される場合もあるので注意しましょう。言語科目と地域基礎科目は専攻地域によって履修方法が異なります。詳細は履修案内等を確認しましょう。教養科目は 1 年次・2 年次にそれぞれ 4~5 コマずつ履修すると良いでしょう。留学は制度によって、在学期間 4 年で卒業できるケースと、そうでないケースがあります。詳細は留學案内を確認しましょう。

現代世界論 コースの履修モデル Contemporary Global Studies

1-2 年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

3-4 年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留學プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

Model 1 中央ヨーロッパ地域 × 環境 環境先進国ヨーロッパの 経験から学びたい！	1 年生				2 年生				3 年生				4 年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
Model 2 東南アジア第 1 地域 × ジェンダー エンタメ産業における ジェンダー問題を 考えたい	専攻言語 I (ドイツ語 I) GLIP 英語 ドイツ・ヨーロッパ中世史 ドイツ語圏の文化 考える世界史 歴史学入門 政治学原論 - 倫理と政治 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				専攻言語 II (ドイツ語 II) GLIP 英語 ドイツ近現代史 中東欧国際関係史 政治学原論 - 倫理と環境正義 グローバルスタディーズの経済思想史 歴史資料体論 国際政治学入門 教養科目				教養外国語 (フランス語) 現代ヨーロッパにおける戦争の記憶 現代世界論概論 I A 自然と人間の社会史 環境保全論 I・II 環境保護・脱原発のドイツ・ヨーロッパ史 専門演習 [環境保全論演習]				教養外国語 (イタリア語) 感情史の理論と実践 ドキュメンタリー映画論 感情史とは何か 歴史から教訓は学べるか 西欧現代政治論 進路・メーカー 卒論演習 卒論テーマ～ヨーロッパにおける環境意識の変遷～			
	専攻言語 I (フィリピン語 I) GLIP 英語 フィリピン研究入門 1 フィリピン研究入門 2 東南アジア研究入門 文化人類学入門 地域研究入門 レイニズム・スタディーズ入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				専攻言語 II (フィリピン語 II) GLIP 英語 ジェンダー史概論 東南アジア地域研究特論 ジェンダー論入門 ミクロ経済学入門 質的社会調査法 クイア史の探求 教養科目				専攻言語 III (フィリピン語 III) GLIP 英語 島嶼部東南アジア政治経済社会史 東南アジアの物質文化 近現代ベトナムの性と政治 現代世界論概論 I A ケアの倫理と政治理論 日常生活とつながるジェンダー 1・2 専門演習 主:「社会学専門演習」副:「ジェンダー論演習」				教養外国語 (朝鮮語) 医療から見るベトナム近現代史 森崎和江とフェミニズム ジェンダーとキャリア形成の国際比較 ドキュメンタリー映画論 自由論 進路・マスコミ 卒論演習 卒論テーマ～アジアにおける女性とエンタメ～			
	専攻言語 I (フランス語 I) GLIP 英語 パリ市を通して見るフランス社会 フランス史概論 History of Contemporary France 現代史と映像 政治学原論 - 倫理と政治 レイニズム・スタディーズ入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				専攻言語 II (フランス語 II) GLIP 英語 アフリカ地域研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義 文化人類学入門 政治学基礎 ユートピアと社会契約 質的社会調査法 教養科目				専攻言語 III (フランス語 III) GLIP 英語 近世フランスにおける民衆の経験を考える <境界>としてのイタリア 私たちのアナキズム研究 「教育問題」と社会学 国際社会学 移民と国家の社会学 感情史とは何か 専門演習 [国際社会学演習]				教養外国語 (アラビア語) アフリカ文化論 レイニズム・スタディーズ 1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解 進路・教育関連 卒論演習 卒論テーマ～移民のこどもとフランス社会～			
	● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「履」は履修科目、「専」は専門科目を意味します。															

履修計画を立てるときのポイント

1. 時間割を詰め込みすぎない！ (大学の授業は予習・復習・課題がもれなくついてきます。特にアクティブラーニングは提出時期が重なることが多いので要注意！)
2. 進級に関わる必修科目・卒業所要単位数に注意しよう！ (専攻地域・専攻言語によって異なります。入学年度の履修案内を熟読しよう。)
3. 導入科目は 3 コースからバランスよく学ぼう。
4. 教養外国語は 2 年生からの履修がおすすめ (新しい外国語を複数学ぶのは大変…まずは専攻言語にしっかり取り組もう。)
5. シラバス検索の「キーワード検索」を活用しよう。
6. 長期的な履修計画を立てよう。